

武蔵大学人文学会雑誌執筆者リスト (第30巻まで)

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題目
瀬田 勝哉	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	序
仙北谷 晃一	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	平福百穂讃
杉田 弘子	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	偉大なる野蛮人、シェークスピア —アンビヴァレントなニーチェの評価
野呂 佐枝子	非常勤講師	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	聖なるイザベラ —『尺には尺を』の一考察
私市 保彦	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	ヴェルヌ「青少年時代の思い出」とヴェルヌ伝説
庄司 太一	非常勤講師	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	岸田吟香の国産第一号水目薬「精錡水」ガラスびん覚書
西澤 治彦	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	中国映画の新しい展開(一)『心の香り』
西澤 治彦	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	中国映画の新しい展開(二)『哀恋花火』
佐倉 純子	非常勤講師	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	天使のいる絵画 —「受胎告知」を中心に—
鈴木 満	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	「リヒルデ」(ヨハン・カール・アウグスト・ムゼーウス著) (訳)
小山 ブリジット	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	エドモン・ド・ゴンクールと林忠正 —書簡による親密な交友について—
原 幸雄	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	サント=ブーヴの日本における影響
清水 誠	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	カオスと偶然性
小原 広忠	教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	アンダソンの短編小説「とうもろこしの種まき」を読む
鈴木 保昭	非常勤講師	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	人類愛の詩人・ホイットマン —「ブロードウェイの壮麗な行列」を中心として—
宮崎 雄行	名誉教授	30	4	仙北谷晃一教授記念号	119	受動の栄光 —キーツのシェイクスピア体験に関する私見—
西澤 治彦	教授	30	2・3	普通	117・118	『秋菊の物語』をめぐる
踊 共二	助教授	30	2・3	普通	117・118	バルタザル・フープマイアーの寛容論 —「神の名を汚す者」を赦す思想—
五島 学	非常勤講師	30	2・3	普通	117・118	《天使の声》とセクシュアリテ —バルザック『サタジューヌ』をめぐる—
池田 誠	本学修士	30	2・3	普通	117・118	中原中也のダダイズム—『ダダイスト新吉の詩』との表現比較を視座として—
渡辺 愛子	非常勤講師	30	2・3	普通	117・118	On behalf of the Working Class: The Widening of Cultural Theory in the 1930s イギリス1930年代における左翼知識人のポピュラーカルチャー賞揚をめぐる一考察
Reini Schwede	教授	30	2・3	普通	117・118	MYTHOS ALS UTOPIE ユートピア的社会像としての神話
西村 淳子	教授	30	2・3	普通	117・118	動詞時制から見たテキスト構成の手法 —「説明」時制、「語り」時制の分布と物語の全体構成—
清水 誠	教授	30	2・3	普通	117・118	知性・意志・情動—バルクソン『道徳と宗教の二源泉』を手懸かりとして—
西澤 治彦	教授	30	1	普通	116	『黄色い大地』をめぐる
加瀬 健治	本学修士(日)	30	1	普通	116	「吹雪物語」の女性たち —安吾文学のヒロイン像
高杉 佐代子	本学修士(日)	30	1	普通	116	元禄七年前後の京劇壇の状況 —市川団十郎上京に対する大和屋甚兵衛、およびその他の在京役者の反応—
大内 さとみ	本学修士(日)	30	1	普通	116	18世紀のシノワズリー —セーブル磁器の風景画の変遷から—
高橋 時男	教授	30	1	普通	116	ミニマリストプログラムと移動現象
瀬田 勝哉	教授	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	序
蛭川 久康	教授	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	画家のまなざし —ウリアム・ホガースにみる社会改良家—
アダム・カバット	教授	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	化物尽の黄表紙の翻刻とその考察(その三) —『信有奇怪会』『怪談深山桜』の翻刻と註釈
西澤 治彦	教授	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	文革映画の系譜(2)—『活着』論
秋山 和夫	非常勤講師	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	漱石とフランス
小山 ブリジット	教授	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	19世紀のフランスに於ける北斎 —北斎作品の不思議な解釈—
清水 誠	教授	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	バルクソンのオックスフォード講演 「変化の知覚」について
平田 美和子	教授	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	イギリスにおける政党支持構造の変化 —政党の「無編成 (dealignment)と中産階級—
高橋 時男	教授	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	ミニマリストプログラム考察
武藤 義人	教授	29	3・4	蛭川久康教授記念号	114・115	P.ブリアトン版ブロードサイド
八木 清治	教授	29	1・2	普通	112・113	亀井南冥廢黜事件考
三島 暁子	本学修士(日)	29	1・2	普通	112・113	豊原縁秋考 —室町中・後期の地下楽人の一断面—
鍋田 英水子	本学修士(日)	29	1・2	普通	112・113	中世後期「北野社」神社組織における「一社」
皆川 満寿美	非常勤講師	29	1・2	普通	112・113	障害としての文化
山口 香	助教授	29	1・2	普通	112・113	柔道コーチングにおける体力測定の意義 —無氣的パワー測定の例—
大竹 健介	教授	29	1・2	普通	112・113	フランス語による日本古典文学の紹介
黒澤 英典	教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	教員の年齢構成と教育効果に関する実証的研究
西澤 治彦	教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	文革映画の系譜(1)—『青い凧』論
鈴木 満	教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	フランス・バロックお伽話『リクディン・リクドン』考(承前)
武田 信子	助教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	学生相談ネットワークに関する研究(その5) —学生援助に関する職員への面接調査—
林 義樹	教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	大学教員と『変換力学習』の可能性
薬袋 佳孝	教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	アクチノイドの地中移行挙動へのフミン酸の影響
丸橋 珠樹	教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	武蔵大学周辺のNO2濃度分布と樹林の大気汚染緩和効果
池田 慎	助教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	自己励起ホイスラーモードサイドバンド波について
神尾 正俊	教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	OLYMPICの推移
赤井 岩男	教授	28	4	福本久雄教授記念号	111	サッカーのゲーム分析(4) —シュートについて—
仙北谷 晃一	教授	28	3	小原広忠教授記念号	110	充たされぬ愛から無私の愛へ —ハーンの「永遠に女性的なるもの」の行方—
アダム・カバット	助教授	28	3	小原広忠教授記念号	110	化物尽の黄表紙の翻刻と考察(その二) —化物の概念をめぐる—
鈴木 満	教授	28	3	小原広忠教授記念号	110	フランス・バロックお伽話『リクディン=リクドン』考(前半)
荒木 龍彦	非常勤講師	28	3	小原広忠教授記念号	110	スティグマとしての「前科」とその超克 —ラベリング論の視点から見た刑務所出所者の社会での生き難さとその克服のプロセス I—
栗田 宣義	教授	28	3	小原広忠教授記念号	110	なぜ測定しないのか —社会運動論の衰退と社会学の将来—
Reini Schwede	助教授	28	3	小原広忠教授記念号	110	MEDEA, STIMMEN —CHRISTA WOLFS MYTHOSADAPTION— メディア さまざまな声 —クリスタル・ヴォルフの神話受容—
洲脇 哲郎	教授	28	3	小原広忠教授記念号	110	『チャーリーとの旅』の収穫 —スタインベックが見たアメリカ—
武藤 義人	教授	28	3	小原広忠教授記念号	110	特異な構造のパラッド —Agnes Lyleの場合—
仙北谷 晃一	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	白哲の学究 —竹内公誠さんを偲ぶ
大竹 健介	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	周禮正義注疏(抄) 解讀承前
私市 保彦	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	動物寓話作家としてのバルザック

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題目
平林 和幸	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	詩人ブレーズ・サンドラールの誕生(II) —[ニューヨークの復活祭] <i>Les Pâques à New York</i>
鈴木 満	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	リュウベツァールの物語 ヨハン・カール・アウグスト・ムゼーウス著 (訳)
小山 ブリジット	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	Hayashi Tadamasa et l'art décoratif de l'ère Meiji 林忠正と明治時代の芸術
山崎 耕一	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	弁護士バレールの活動 —啓蒙と革命(III)—
清水 誠	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	故竹内公誠教授の遺稿について
竹内 公誠	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	新約聖書の「常用語訳」の特質 —ヘブライ書を中心として—
竹内 公誠	教授	28	2	竹内公誠教授追悼号	109	擬音語・擬態語のフランス語訳をめぐる二つの問題 —日本語とフランス語との語彙的相違の一側面—
大竹 健介	教授	28	1	普通	108	周禮正義(抄)解讀
アダム・カバット	助教授	28	1	普通	108	化物尽の黄表紙の翻刻と考察(その一) —『今昔化物親玉』『化物世■鉢木』『化物見越松』の翻刻と註釈 (■は木へんに遺)
高杉 佐代子	本学修士(日)	28	1	普通	108	大和屋甚兵衛の興行手腕 —大坂時代から元禄四年度まで—
Reini Schwede	助教授	28	1	普通	108	Christa Wolf neue Romantik -Eskapismen im "Sommerstück"- クリスタ・ヴォルフの新ロマン主義 —『ゾンマー・シュテュック』における現実逃避
小原 広忠	教授	27	4	普通	107	最後のモヒカン族の正体 —現代の荒野の「聖なる」道案内人について考究する— その二
小玉 美意子 白水 繁彦 竹山 昭子 吉田 文彦 小田原 敏 音 好宏 Anne Cooper-Chen	教授 教授 昭和女子大学教授 東海大学教授 関西大学助教授 上智大学専任講師 オハイオ大学教授	27	4	普通	107	日米テレビニュース比較研究1994年調査(2)(共著)
熊本 たま	非常勤講師	27	4	普通	107	英作文指導における読者の設定 —理論的背景と指導の実践—
杉田 弘子	教授(学部長)	27	3	嶋澄教授記念号	106	捧げる言葉
大村 好久	教授	27	3	嶋澄教授記念号	106	「スウェーデンならびにヨーロッパ4ヶ国における社会保障の要素」(翻訳)
小玉 美意子 白水 繁彦 竹山 昭子 吉田 文彦 小田原 敏 音 好宏 Anne Cooper-Chen	教授 教授 昭和女子大学教授 東海大学教授 関西大学助教授 上智大学専任講師 オハイオ大学教授	27	3	嶋澄教授記念号	106	日米テレビニュース比較研究1994年調査(1)(共著)
山崎 哲哉	助教授	27	3	嶋澄教授記念号	106	女性の政治参画と(生活者政治)の可能性 —その1. 女性市区議会議員の現状(前編)—
藤村 正之	助教授	27	3	嶋澄教授記念号	106	医療過程とコミュニケーション —ガン患者の死をめぐる社会関係
河野 銀子	非常勤講師	27	3	嶋澄教授記念号	106	選抜・配分装置としての大検
鈴木 満	教授	27	2	普通	105	リュウベツァールの物語 —ヨハン・カール・アウグスト・ムゼーウス著 (訳)
林 克則	本学修士(日)	27	2	普通	105	宮内庁書陵部蔵「伊勢物語抄」に見える「或本」について
本多 由起子	本学修士(日)	27	2	普通	105	『死の島』論 —萌木素子の内的時間
小泉 徹	助教授	27	2	普通	105	「イギリス絶対王政」再考
仙北谷 晃一	教授	27	1	普通	104	ラフカディオ・ハーンと音楽
大竹 健介	教授	27	1	普通	104	「仙佛奇蹤」解讀
吉川 純子	専任講師	27	1	普通	104	Commodities among Themselves: Gender, Theater, and Consumption in Sister Carrie and The Wonderful Wizard of Oz 商品のなかの商品:『シスター・キャリー』と『オズの魔法つかい』におけるジェンダー、劇場、消費
武田 信子	専任講師	27	1	普通	104	精神疾患による休職教員のためのデイケアの試み
小川 正恭	教授(学部長)	26	4	富岡近雄教授記念号	103	序
杉田 弘子	教授	26	4	富岡近雄教授記念号	103	性と狂気と陶酔の神ディオニュソス —ニーチェにおける最高の肯定概念〔I〕
兵頭 高夫	教授	26	4	富岡近雄教授記念号	103	白昼に灯火をともし男 —ニーチェ、ルーミー、ディオゲネス—
鈴木 満	教授	26	4	富岡近雄教授記念号	103	リュウベツァールの物語 —ヨハン・カール・アウグスト・ムゼーウス著 (訳)
辻本 勝好	非常勤講師	26	4	富岡近雄教授記念号	103	中期ニーチェの言語観(二) —思想の俳諧化としてのアフォリズム—
加瀬 健治	本学修士(日)	26	4	富岡近雄教授記念号	103	「絶対の孤独」と説話体 —坂口安吾「紫大納言」論
浅野 洋	非常勤講師	26	4	富岡近雄教授記念号	103	『ナクソス島のアリアドネ』(フーゴ・フォン・ホーフマンスタール/リヒャルト・シュトラウス)試論 —生成する意志—
Ulla Hofstaetter	助教授	26	4	富岡近雄教授記念号	103	"Wolfgang Apollo" Das Goethe-Bild des jungen Heine in dem Reisebild Die Nordsee. Dritte Abtheilung 「アポロ神ヴォルフガング」 —『北海第三部』に見られる若きハイネのゲーテ像
小川 正恭	教授(学部長)	26	3	日南田一男教授記念号	102	序
蛭川 久康	教授	26	3	日南田一男教授記念号	102	イギリス カントリーハウスの肖像 —伝統と文化の基底をもとめて
仙北谷 晃一	教授	26	3	日南田一男教授記念号	102	ラフカディオ・ハーン著『神国日本』を読む
洲脇 哲郎	教授	26	3	日南田一男教授記念号	102	『緋文学』に秘められしもの
伊藤 泰雄	非常勤講師	26	3	日南田一男教授記念号	102	マルブランシュにおける認識と存在 —「神との結合」を視座として—(2)
清水 誠	教授	26	3	日南田一男教授記念号	102	行為遂行的発言と発語内行為
佐野 晃	教授	26	3	日南田一男教授記念号	102	冒険小説を通して見るイギリス紳士像と大英帝国
武藤 義人	教授	26	3	日南田一男教授記念号	102	"Thomas Rymer"の諸型 —バラッド化のかたち—
小川 正恭	教授(学部長)	26	2	酒井滋教授記念号	101	序
杉田 弘子	教授	26	2	酒井滋教授記念号	101	漱石の『猫』とニーチェ
鈴木 満	教授	26	2	酒井滋教授記念号	101	リュウベツァールについて
鈴木 満	教授	26	2	酒井滋教授記念号	101	リュウベツァールの物語 —ヨハン・カール・アウグスト・ムゼーウス著 (訳)
兵頭 高夫	教授	26	2	酒井滋教授記念号	101	神秘主義の位置づけについての試論
浅野 洋	非常勤講師	26	2	酒井滋教授記念号	101	A・シュニツラーの『アナトル』考
岩村 行雄	非常勤講師	26	2	酒井滋教授記念号	101	パウハウス舞台 —造形芸術家の演劇革新運動—
辻本 勝好	非常勤講師	26	2	酒井滋教授記念号	101	中期ニーチェの言語観(一) —憶測上の科学としての言語—
武藤 義人	教授	26	2	酒井滋教授記念号	101	"Thomas Rymer"管見 —水界通過の語り—
Ulla Hofstaetter	助教授	26	2	酒井滋教授記念号	101	"Verwandlungs-und Erhöhungsakt" Die Echo-Episode in Thomas Manns Roman <i>Doktor Faustus</i> 「変容と高次化のプロセス」 —トーマス・マンの長篇小説『ファウスト博士』におけるエピソードの挿話—
山崎 耕一	教授	26	1	普通	100	啓蒙思想とフランス革命 (2) アベ・マジの蔵書目録

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題目
松田 礼子	本学修士(日)	26	1	普通	100	「はずだ」に関する一考察 - 推理による観念の世界と、その外に実在する現実の世界をめぐって-
三浦 塔子	本学学士(社)	26	1	普通	100	現代社会における「古い」の看取り - 老人介護はなぜ「問題」になるのか-
伊藤 泰雄	非常勤講師	26	1	普通	100	マルブランシュにおける認識と存在 - 「神との結合」を視座として-(1)
兵頭 高夫	教授	25	4	普通	99	エンゲルベルト・ケンペル伝(九) カール・マイヤー=レムゴ著(訳)
長沢 眞希子	本学修士(日)	25	4	普通	99	元禄歌舞伎におけるからくり - 元禄年間の水がらくりを中心に-
甲斐 安夫	非常勤講師	25	4	普通	99	戦後社会と教育行政 - 講義余録としての自分史的メモ-
山崎 耕一	教授	25	4	普通	99	啓蒙思想とフランス革命 (1)最近の研究史から
私市 保彦	教授	25	4	普通	99	LE GENRE FANTASTIQUE EN FRANCE ET AU JAPON-"LE DIABLE AMOUREUX" DE CAZOTTE ET "LE SAINT MOINE DU MONT KÔYA" DE KYÔKA カゾット「悪魔の恋」と鏡花「高野聖」
小山 ブリジット	教授	25	4	普通	99	Une revue unique de l'époque Taisyô: Tolstoi kenkyu/Etude sur Tolstoi 大正時代の唯一の雑誌:トルストイ研究
小笠原 恭子	教授	25	2・3	普通	97・98	元禄歌舞伎の舞台構成(2) - 役者はどこから登場したか-
兵頭 高夫	教授	25	2・3	普通	97・98	エンゲルベルト・ケンペル伝(八) カール・マイヤー=レムゴ著(訳)
鈴木 尚子	本学修士(日)	25	2・3	普通	97・98	フロチ譚の指示詞
皆川 満寿美 櫻村 志郎 藤村 正之	非常勤講師 神戸大学教授 助教授	25	2・3	普通	97・98	共同作業所の社会学のために - 社会福祉施設をめぐるフィールド・ワークより-
清水 誠	教授	25	2・3	普通	97・98	メルロ・ポンティ研究ノート - 知覚の現象について-
平田 美和子	教授	25	2・3	普通	97・98	アメリカにおける政党マシーンと新移民 - ニューヨークとシカゴのケース-
小原 広忠	教授	25	2・3	普通	97・98	最後のモヒカン族の正体 - 現代の荒野の「聖なる」道案内人について考究する
小泉 徹	助教授	25	1	普通	96	イギリスのドン・キホーテ?
兵頭 高夫	教授	25	1	普通	96	エンゲルベルト・ケンペル伝(七) カール・マイヤー=レムゴ著(訳)
加瀬 健治	本学修士(日)	25	1	普通	96	坂口安吾・ファルス論の展開 - 「FARCEに就て」、「文学のふるさと」を中心に
市川 しのぶ	本学修士(仏)	25	1	普通	96	ユイスマンス - 絵画としての小説-
五島 学	本学修士(仏)	25	1	普通	96	『マッシミラ・ドーニ』におけるバルザックの音楽美学
原 幸雄	教授(学部長)	24	4	伊能敬教授記念号	95	序
黒澤 英典	教授	24	4	伊能敬教授記念号	95	敗戦直後における教師養成制度改革案の検討-戸田貞三文書を中心にして-
鈴木 満	教授	24	4	伊能敬教授記念号	95	『子不語』所収のある小語と『黄金の驢馬』の一挿話の似寄りについて
兵頭 高夫	教授	24	4	伊能敬教授記念号	95	エンゲルベルト・ケンペル伝(六) カール・マイヤー=レムゴ著(訳)
近藤 保	東京理科大学教授	24	4	伊能敬教授記念号	95	マイクロカプセルの小科学
綿拔 邦彦 木曾 文彦 大島 直子 大下 克己	東京大学教授 東京大学修士 東京大学修士 東京大学研究生	24	4	伊能敬教授記念号	95	酸性雨に対する一考察
武藤 伸	武蔵高中教員	24	4	伊能敬教授記念号	95	近代化学成立の過程 - 18世紀から19世紀まで-
渡辺 範夫	非常勤講師	24	4	伊能敬教授記念号	95	水は0°Cで本当に凍るのか? 石鹼が汚れを落とすのは何故か? -相転移と分子集合を考える-
池田 慎	助教授	24	4	伊能敬教授記念号	95	電離層下面上の点源と見なされるVLF電波の透過領域について
丸橋 珠樹 池田 慎 伊能 敬	助教授 助教授 教授	24	4	伊能敬教授記念号	95	環境問題教育への自然科学からの新しい試み - 新設科目「科学と自然」の報告-
赤井 岩男 神尾 正俊 福本 久雄 山口 香	教授 教授 教授 専任講師	24	4	伊能敬教授記念号	95	武蔵大学生の体育・スポーツについての調査
山口 香	専任講師	24	4	伊能敬教授記念号	95	武蔵大学生の体力についての一考察
洲脇 哲郎	教授	24	4	伊能敬教授記念号	95	クーバーの『開拓者』を読む - アメリカ先住民の挽歌-
竹内 公誠	教授	24	4	伊能敬教授記念号	95	象徴語の翻訳をめぐる二つの問題 - 日本語とフランス語との「様態表現」(その1)-
小山 ブリジット	教授	24	4	伊能敬教授記念号	95	日本に於けるファン・ゴッホの紹介
原 幸雄	教授(学部長)	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	序
神田 秀夫	名誉教授	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	荘子の読者
鈴木 泰	教授	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	源氏物語会話文における動詞基本形のアスペクト的意味
瀬田 勝哉	教授	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	荘園解体期の京都 - 流通をめぐる二、三の問題-
山本 眞功	非常勤講師	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	万事物の法に随ふのみ - 石田梅岩試論-
原島 正	非常勤講師	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	小崎弘道の徳育論
大野 淳一	教授	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	漱石の見たもの・見なかったもの - 「満韓とところどころ」の旅・ノート1-
鳥居 邦朗	教授	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	芥川の語り
辻本 勝好	非常勤講師	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	初期ニーチェの言語観 - 遺稿『道徳外の意味における真理と虚偽について』を中心に-
兵頭 高夫	教授	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	エンゲルベルト・ケンペル伝(五) カール・マイヤー=レムゴ著(訳)
清水 誠	教授	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	和辻とメルロ=ポンティ - 「人間の学としての倫理学」と共同主観性-
入不二 基義	非常勤講師	24	2・3	今井淳教授記念号	93・94	From De Se to De Me - On the singular self hidden in the Irreducibility Thesis of De Se-
原 幸雄	教授(学部長)	24	1	普通(星野教授)	92	星野先生退職にあたって
長峯 晴夫	名古屋大学院教授	24	1	普通(星野教授)	92	わが友、星野郁美
星野 郁美	元教授	24	1	普通(星野教授)	92	日本人のユダヤ人意識
小川 正恭	教授	24	1	普通(星野教授)	92	ツォウ族の伝統家屋の空間構成
藤村 正之	助教授	24	1	普通(星野教授)	92	武蔵大学という(空間)／社会学を学ぶという(キャリア)
保坂 高殿	非常勤講師	24	1	普通(星野教授)	92	ミヌキウス・フンダーヌス宛て、ハドリアヌス返書
丹内 博道	本学修士(日)	24	1	普通(星野教授)	92	梶井基次郎「檸檬」と意識
兵頭 高夫	教授	24	1	普通(星野教授)	92	エンゲルベルト・ケンペル伝(四) カール・マイヤー=レムゴ著(訳)
山崎 耕一	教授	23	4	普通	91	モンテスキューをめぐる三つの芝居
入不二 基義	非常勤講師	23	4	普通	91	「私」・他者・エロスの言語ゲーム
兵頭 高夫	教授	23	4	普通	91	エンゲルベルト・ケンペル伝(三) カール・マイヤー=レムゴ著(訳)
野口 方子	本学修士(独)	23	4	普通	91	オペラ《アラベラ》に見るシュトラウスとホーフマンスタールの共同作業 - ライトモチーフが敷衍する音と言葉の関係-
小山 ブリジット	助教授	23	4	普通	91	「浮世絵の伝統美はどのように現代に伝えられているか」-平成三年六月十五日浮世絵摺師を迎えて行った浮世絵版画のデモンストレーションを振り返って-

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題目
原 幸雄	教授(学部長)	23	2・3	宮崎行雄教授記念号	89・90	序
仙北谷 晃一	教授	23	2・3	宮崎行雄教授記念号	89・90	俳句五句 一宮崎兄に
小泉 徹	専任講師	23	2・3	宮崎行雄教授記念号	89・90	革命前のイングランド国教会
兵頭 高夫	教授	23	2・3	宮崎行雄教授記念号	89・90	エンゲルベルト・ケンペル伝(二) カール・マイヤー＝レムゴ著(訳)
鈴木 保昭	非常勤講師	23	2・3	宮崎行雄教授記念号	89・90	モーツァルト『魔笛』とホイットマン『草の葉』の思想の共通性を求めて
洲脇 哲郎	助教授	23	2・3	宮崎行雄教授記念号	89・90	怒りと悲しみのクレメンズ 一晩年のマーク・トウェインを読む一
山崎 光治	助教授	23	2・3	宮崎行雄教授記念号	89・90	イバン・イリイチにおける都市のイメージ
武藤 義人	教授	23	2・3	宮崎行雄教授記念号	89・90	Agnes Lyleのパラッド若干 一その相称的構造一
佐野 晃	教授	23	2・3	宮崎行雄教授記念号	89・90	JOSEPH CONRAD AS AN EDWARDIAN NOVELIST
山崎 耕一	教授	23	1	普通	88	ルソーとフランス革命
兵頭 高夫	教授	23	1	普通	88	エンゲルベルト・ケンペル伝(一) カール・マイヤー＝レムゴ著(訳)
大久保 直子	本学修士(仏)	23	1	普通	88	ボードレールと想像力 一『人工楽園』を中心に一
毛塚 万里	本学修士(日)	23	1	普通	88	室町殿の御袈裟下賜と「針工」の成立 一『蔭涼軒日録』を中心に一
洲脇 哲郎	助教授	22	3・4	普通	86・87	マーク・トウェイン成年期に達す(2) 一『トム・ソーヤーの冒険』から『ハックルベリ・フィンの冒険』への発展一
光野 正幸	助教授	22	3・4	普通	86・87	ドイツ・オペラ史のなかの E.T.A.ホフマン 一オペラ史における 1820年前後のベルリンの状況をめぐって一
栗田 宣義	専任講師	22	3・4	普通	86・87	社会運動の資源動員能力(2) 一変数群の操作的定義と仮説の検証
関口 なほ子	本学修士(独)	22	3・4	普通	86・87	心の頂きにさらされて 一R.M.RILKEの「詩作」と「思索」の転回について一
若林 恵	本学修士(独)	22	1・2	普通	84・85	『レンツ』における精神の位相
森野 由美子	本学修士(仏)	22	1・2	普通	84・85	バルザックの『ゴブセック』におけるテキストの発展
林 秀彦	本学修士(独)	22	1・2	普通	84・85	ドイツ語における複合構成の動詞語彙素 一英語との対応関係について一
勝野 まり子	非常勤講師	22	1・2	普通	84・85	A Comparison between D.H.Lawrence's "The Shadow in the Rose Garden" and Virginia Woolf's "Kew Gardens" 一The Garden, the Lunatic, and the Protagonist一
山口 香	本学助手	22	1・2	普通	84・85	小内刈の運動学的研究
佐野 晃	教授(学部長)	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	高橋均教授追悼号発刊に当たって
嶋 澄	教授	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	高橋均先生を偲んで
田村 栄一郎	非常勤講師	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	良妻賢母主義教育の形成と変遷
小野 浩	非常勤講師	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	教育の変遷を巨視的に把握するシエマの試み 一柳田国男に拠って考える一
黒澤 英典	教授	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	教育職員免許法改正の動向と大学の教師教育の課題
小川 正恭	教授	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	夢とシャーマニズム 一ツォウ族の事例から一
渡邊 欣雄	都立大学助教授	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	日本民俗社会の交際と互酬性 一文化人類学講義ノート一
武内 清	非常勤講師	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	中学生のいまとこれから 一高校・大学との関連で一
岡崎 友典 人見 麗子	非常勤講師 放送大学研究生	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	農山村地域における地域定住の条件 一地域定住意識と生産基盤・世帯構造一
望月 厚志	非常勤講師	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	教師としての「力量形成の契機」とその内的構造 一私立大学出身者の場合一
佐藤 典子	非常勤講師	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	女子非行少年の特質と背景
松本 良夫	東京学芸大学教授	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	非行と人格形成
藤村 正之	専任講師	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	福祉国家論の変容・収斂と拡散のはざままで 一研究動向とOECD諸国データの若干の計量分析一
栗田 宣義	専任講師	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	社会運動の資源動員能力(1) 一理論モデルの提示と変数群の操作的定義一
大村 好久	教授	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	社会学教育における実習の意義 一三七人による八九年度「社会調査」実習活動から一
武藤 義人	教授	21	3・4	高橋均教授追悼号	82・83	『アングロ・サクソン年代記』の王の訃若干をめぐって
佐野 晃	教授(学部長)	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	序
小原 広忠	教授(学長)	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	翠き学林よ、永久に 一二〇周年に寄せて
平井 卓郎	名誉教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	西行のことなど
堀田 要治	元教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	お祝いのことば
神田 秀夫	名誉教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	断章 一先秦の宋と楚と一
宮地 健次郎	元教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	レナード・ウルフ自叙伝
蛭川 久康	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	パースのスキヤンダル 一リチャード・B・シェリダンの場合一
富岡 近雄	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	ゲオルゲトイーダ・コーブレンツ
兵頭 高夫	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	日本におけるショーペンハウアー受容の問題一ケーベルを中心に一
大竹 健介	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	パスカルと所有権
私市 保彦	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	賢治童話の魔術的地図 一土俗と想像力一
清水 誠	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	差延と語り
原 幸雄	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	『弓浦市』と『ユミウラ』の間
平林 和幸	助教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	ルソーとアポリネール(上)一詩人の見た画家・画家の見た詩人一
小笠原 恭子	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	元祿歌舞伎の舞台構成(江戸) 一風俗画の検討一
鈴木 泰	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	ウェイランド『修身論』の語彙
池田 慎	助教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	サイプル信号によってトリガーされたエミッションの電離圏出口の解析
丸橋 珠樹 湯本 貴和	助教授 神戸大学助手	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	森林の平面構造とヤクザル(<i>Macaca fuscata yakui</i>)の採食行動
栗田 宣義	専任講師	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	なぜ抗議するのか? 一政治的社会的エイジェントとしての抗議活動従事経験一
藤村 正之	専任講師	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	悲哀感情の社会的理解・序説 一災害遺児家庭の母親たちの死別経験から一
竹内 公誠	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	二つのフランス語訳「ヨハネ福音書」一翻訳における「忠実さ」と「平明さ」の問題一
洲脇 哲郎	助教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	マーク・トウェイン成年期に達す(1) 一『トム・ソーヤーの冒険』から『ハックルベリ・フィンの冒険』への発展一
宮崎 雄行	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	<i>The Duchess of Malfi</i> 小解 一I am arm'd 'gainst misery.(III.v.)
岡山 光憲	名誉教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	パレルモ市・カプチン修道会カタコンベのミイラ群について
神尾 正俊	教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	JUMPING METHOD
小山 ブリジット	助教授	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	Un homme de lettres russe à l'origine de la littérature japonaise moderne: I. Tourguéniev
クリスファー・ブラディック	専任講師	21	1・2	20周年記念論文集	80・81	MUKDEN REVISITED 一A DECONSTRUCTIVIST REASSESSMENT OF THE MANCHURIAN INCIDENT AND THE ESTABLISHMENT OF MANCHUKUO AS AN EXAMPLE OF 'GEKOKUJŌ'

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題目
鎌田 康男	非常勤講師	20	3・4	普通	78・79	若きショーペンハウアーにおける「意志としての世界」の構想 —ショーペンハウアー研究の新視角を求めて(第二部)—
渡邊 正彦	本学修士(日)	20	3・4	普通	78・79	小林秀雄 —その言語観とリアリズム—
小山 ブリジット	助教授	20	3・4	普通	78・79	LE JAPON RÉVÉ D'UN COLLECTIONNEUR —Une relecture du <i>Journal</i> des frères Goncourt.
能登路 雅子	助教授	20	3・4	普通	78・79	Civilization Illuminating the World: The United States and Japan at the World's Columbian Exposition of 1893
酒井(横山)滋	教授	20	2	普通	77	ヴァルトミュラーとウィーンの庶民的リアリズム
鈴木 満	教授	20	2	普通	77	「小クラウスと大クラウス」から民話「馬喰八十八」まで
斎藤 真喜子	本学修士(英)	20	2	普通	77	フィリパ・ピアス研究 —作品に見る老人の強さと孤独
武内 清	非常勤講師	20	2	普通	77	社会学演習における小グループ研究の試みとその成果 —武蔵大学での実験
呉 哲男	非常勤講師	20	1	普通	76	仁と侯について —論語と孔子の間(一)—
岩崎 修	本学修士(日)	20	1	普通	76	局面動詞の性格 —局面動詞の役割分担
小山 ブリジット	助教授	20	1	普通	76	Shimazaki Tôson et le roman russe: <i>Hakai/La rupture de l'interdit</i> et Crime et châtiment de Dostoïevski
深津 胤房	兼任講師	19	3・4	普通	74・75	古代中国人の思想と生活 —「宰予晝寝」(時の別)について—
鎌田 康男	非常勤講師	19	3・4	普通	74・75	若きショーペンハウアーにおける「表象としての世界」の構想 —ショーペンハウアー研究の新視角を求めて(第一部)—
小山 ブリジット	助教授	19	3・4	普通	74・75	Une inoubliable partie de chasse: Akutagawa Ryûnosuke à la rencontre de Tourguéniev et de Tolstoï
私市 保彦	教授(学部長)	19	2	渡辺勉教授記念号	73	序文
渡辺 勉	教授	19	2	渡辺勉教授記念号	73	人間行動の理解と相互創造に関する仮説—心理劇技法理論の試論—
黒澤 英典	教授	19	2	渡辺勉教授記念号	73	わが国に於ける6・3・3・4制学校制度成立の経緯 —戸田貞三文書を中心にして—
グレゴール・ヘーフリガー	助教授	19	2	渡辺勉教授記念号	73	TECHNIK UND WAHRNEHMUNG(I) (im Deutschland der Dreißigerjahre)
神尾 正俊	教授	19	2	渡辺勉教授記念号	73	身体形態と運動能力について
福本 久雄	教授	19	2	渡辺勉教授記念号	73	アメリカのスポーツ事情 —1987年海外研修を終えて—
伊能 敬	教授	19	2	渡辺勉教授記念号	73	映像教材の試作 —有機高分子化合物の構造—
岡山 光憲	教授	19	2	渡辺勉教授記念号	73	古代エジプトにおけるセト神とその信仰について
酒井(横山)滋	教授	19	1	普通	72	孤高の画家、ハンス・フォン・マレーズ
渡辺 泰宏	本学修士(日)	19	1	普通	72	世阿弥の謡曲における伊勢物語
関本 恵理	本学修士(仏)	19	1	普通	72	『未来のイヴ』に於けるヴィリエド・リラダンの理想について
野呂 佐枝子	本学修士(英)	19	1	普通	72	シェイクスピアの問題劇: <i>Troilus and Cressida</i> の場合 —自己の認識不足という点から—
平林 和幸	助教授	18	4	普通	71	詩人ブレイズ・サンダールの誕生(I) —「僕のアメリカ旅行」を中心に—
伊藤 たかね	助教授	18	4	普通	71	共起制限について
丸橋 珠樹	助教授	18	4	普通	71	人類の進化と直立二足歩行
グレゴール・ヘーフリガー	助教授	18	4	普通	71	Malerei und Philosophie (zu Merleau-Ponty)
高橋 時男	助教授	18	4	普通	71	動名詞についてのノート
武内 清	教授	18	4	普通	71	現代大学生の受講態度とその関連要因の研究 —武蔵大学における講義・ゼミの分析を通して—
渡邊 欣雄	教授	18	3	普通	70	沖縄の祭礼 —祭場・祭司・祭儀に関する東村内諸村落の調査報告—
深津 胤房	兼任講師	18	2	普通	69	古代中国人の思想と生活 —不浄による穢いについて—
酒井(横山)滋	教授	18	2	普通	69	アルノルト・ベックリンのアルカディア風景
嶋 澄	教授	18	2	普通	69	地域開発の諸問題
小笠原 恭子	教授	18	2	普通	69	彦作座と村山座 —江戸芝居町の形成(四)—
鈴木 満	教授	18	2	普通	69	「蛇飯」考
マーク・ジュエル	助教授	18	2	普通	69	Night and Day in "Kôya Hijiri"
竹内 公誠	教授	18	2	普通	69	詩的許容としての共感覚的転用 —Baudelaireの場合を中心として—
酒井(横山)滋	教授	18	1	普通	68	ハンス・マーカルト —70年代のウィーンを演出した画家—
渡邊 欣雄	教授	18	1	普通	68	宴の象徴論 —エッセイとして—
辻本 勝好	本学修士(独)	18	1	普通	68	ツァラトゥストラの影 —ニーチェにおける「認識の情熱」をめぐる—
小山 ブリジット	専任講師	18	1	普通	68	日本の明治期におけるトルストイの受容と影響 —島崎藤村とトルストイの「アンナ・カレーニナ」—
伊能 敬(司会) 佐野 晃(発表者) 黒澤 英典(発表者) 高橋 均(発表者)	教授 教授 教授 教授	17	4	普通	67	一般教育について
瀬田 勝哉	教授	17	4	普通	67	五条天神と祇園社 —『義経記』成立の頃—
山崎 光治	専任講師	17	4	普通	67	I. イリイチの哲学
杉田 弘子(司会) マーク・ジュエル(発表者) 小山 ブリジット(発表者) 能登路 雅子(発表者)	教授 専任講師 専任講師 専任講師	17	3	普通	66	異文化との出会い
小山 ブリジット	専任講師	17	3	普通	66	Le rayonnement de Tolstoï au Japon à l'ère Meiji
池田 慎	専任講師	17	3	普通	66	多点観測によるVLF電波の脱出領域の推定
深津 胤房	兼任講師	17	2	普通	65	古代中国人の思想と生活 —音による穢いについて—
兵頭 高夫	教授	17	2	普通	65	桃の東西 —桃源境とアルカディア
牛島 謙	非常勤講師	17	2	普通	65	フッサールの『イデーン』
小笠原 恭子	教授	17	1	普通	64	寛文年間における堺町の諸座 —江戸芝居町の形成(3)—
渡邊 欣雄	教授	17	1	普通	64	香港・長洲島における竜舟祭の儀礼過程 —予備的報告—
鈴木 正節	非常勤講師	17	1	普通	64	道会と大川周明
岡田 和子	本学修士(独)	17	1	普通	64	北欧における運命の女神 —『エッダ』を中心にして—
武藤 義人	教授(学部長)	16	3・4	新渡戸彰敏教授記念号	62・63	序文
日南田 一男	教授	16	3・4	新渡戸彰敏教授記念号	62・63	エズラ・パウンドと佐藤春夫 —中国古典詩の翻訳をめぐる—
鈴木 泰	助教授	16	3・4	新渡戸彰敏教授記念号	62・63	「き」「けり」の意味とその学説史
富岡 近雄	教授	16	3・4	新渡戸彰敏教授記念号	62・63	ニーチェとゲオルゲ —時代詩「ニーチェ」をめぐる—
神田 秀夫	名誉教授	16	3・4	新渡戸彰敏教授記念号	62・63	聊齋志異管見
平林 和幸	専任講師	16	3・4	新渡戸彰敏教授記念号	62・63	アポリネールの「窓」について
酒井(横山)滋	教授	16	2	普通	61	ハンス・トーマと「青い鳥」

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題目
深津 胤房	教授	16	2	普通	61	古代中国人の思想と生活 一火による祓いについて一
江藤 茂博	本学修士(日)	16	2	普通	61	『或る女』成立に関する試論 一(破滅)への視座をめぐって一
千坂 その子	本学修士(日)	16	2	普通	61	法然の念仏の思想的基盤における一考察
三好 信子	本学修士(日)	16	2	普通	61	『勝茂公御咄聞書』の基礎的研究
武藤 純子	本学修士(日)	16	2	普通	61	荒事考 一元禄江戸かぶきを中心にして一
中村 憲治	東京理科大学講師	16	2	普通	61	初期のニーチェにおける芸術家について
武藤 義人	教授(学部長)	16	1	古山真一教授追悼号	60	古山真一教授追悼号の刊行に当って
田崎 篤次郎	名誉教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	古山君の思い出
児玉 久雄	学習院大学教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	古山真一君を偲ぶ
小池 銓	東京大学教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	思い出すことども
上島 建吉	東京大学教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	古山さんとブリッジ
行方 昭夫	東京大学教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	古山さんを偲んで
古山 敏子	古山夫人	16	1	古山真一教授追悼号	60	ひとすじの道
酒井(横山)滋	教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	道化伯爵フランツ・フォン・ポッチ
富岡 近雄	教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	ゲオルグとホフマンスタール
岡山 光憲	教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	ノーマライゼーションによる社会福祉が実現するまでの障害者施設のあり方 一つの試行としての『共働学舎』
高橋 時男	助教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	Θマーキングと形容詞に関するノート
児玉 久雄	学習院大学教授	16	1	古山真一教授追悼号	60	笑いについての覚え書 一シェイクスピア喜劇論への試み一
武藤 義人	教授(学部長)	15	4	岡部正孝教授記念号	59	序
私市 保彦	教授	15	4	岡部正孝教授記念号	59	バルザックの『ふくろう党』と風景描写の深化(上)
原 幸雄	教授	15	4	岡部正孝教授記念号	59	サント=ブーヴによる批評の確立をめぐって
兵頭 高夫	教授	15	4	岡部正孝教授記念号	59	「視霊者」をめぐって 一カントとゲーテ
山崎 耕一	助教授	15	4	岡部正孝教授記念号	59	フランス航海条例の政策論的背景
平林 和幸	専任講師	15	4	岡部正孝教授記念号	59	ピエール・ルヴェルディと雑誌『ノール=シュッド』 ルヴェルディの『美学』を中心に一
大村 好久	教授	15	4	岡部正孝教授記念号	59	大学の教育機能に関する一研究(2) 一受講態度調査の結果から一
武藤 義人	教授(学部長)	15	3	岡部正孝教授記念号	58	序
渡部 学	教授	15	3	岡部正孝教授記念号	58	韓国の郷村初等教育と日本 一書堂の発達と日本の対応一
福本 久雄	教授	15	3	岡部正孝教授記念号	58	学校体育における遊戯の発達 一明治・大正時代を中心に一
酒井(横山)滋	教授	15	3	岡部正孝教授記念号	58	メールヘンの画家、ルートヴィヒヒター
神尾 正俊	助教授	15	3	岡部正孝教授記念号	58	武蔵大学学生の体力について 一体力診断テストより一
伊能 敬	教授	15	3	岡部正孝教授記念号	58	「測定と誤差」に関する教材のTP化
武藤 義人	教授(学部長)	15	2	横山定雄教授追悼号	57	横山定雄教授追悼号発刊に当って
久山 満夫	教授	15	2	横山定雄教授追悼号	57	追悼特集記念号によせて
田村 健二	非常勤講師	15	2	横山定雄教授追悼号	57	横山定雄先生を偲んで
小野 浩	非常勤講師	15	2	横山定雄教授追悼号	57	近代日本の(学び)の構造研究 一福沢諭吉『学問のすすめ』の教育論の帰趨を 遡う一
久山 満夫	教授	15	2	横山定雄教授追悼号	57	社会問題研究序説
渡邊 欣雄	教授	15	2	横山定雄教授追悼号	57	宴の語義から定義まで 一スケッチとして一
大村 好久	教授	15	2	横山定雄教授追悼号	57	大学の教育機能に関する一研究(1) 一受講態度調査の結果から一
武内 清	教授	15	2	横山定雄教授追悼号	57	高等学校における男女共学・別学に関する実証的研究
星野 郁美	教授	15	2	横山定雄教授追悼号	57	東京のイメージ
高橋 均	教授	15	2	横山定雄教授追悼号	57	自己観念と非行化傾向
佐藤 典子	非常勤講師	15	2	横山定雄教授追悼号	57	少年非行の犯罪社会学的研究 一少年非行の特質と背景一
小林 幸一郎 小林 弘子	非常勤講師 小林教育研究所	15	2	横山定雄教授追悼号	57	体験学習集団の自己実現過程に与える影響
田村 健二	非常勤講師	15	2	横山定雄教授追悼号	57	経済を中心とした日本の将来
五島 貞次	非常勤講師	15	2	横山定雄教授追悼号	57	「人間の要求」についての考察 一福祉社会学的視点から一
酒井(横山)滋	教授	15	1	普通	56	物語の画家、モーリッツ・フォン・シュヴァイト
田中 良彦	本学修士(日)	15	1	普通	56	太宰治とキリスト教 一山岸外史との関係から一
藤田 豊	本学修士(日)	15	1	普通	56	内村鑑三における「武士道」の一考察
飯田 元	本学修士(仏)	15	1	普通	56	ジャン・ジロドゥーの『間奏曲』小研究
塚越 敦子	本学修士(仏)	15	1	普通	56	メーテルランクの神秘的象徴性 一初期劇作品と『貧者の宝』一
澤井 由紀	本学修士(独)	15	1	普通	56	ジャン・パウルのフモールの概念について 一『美学入門』を中心に一
西村 建樹	本学修士(英)	15	1	普通	56	Hemingway and Goya:the Grim World of Violence and Code
武藤 義人	教授(学部長)	14	4	東宮隆教授記念号	55	序文
酒井(横山)滋	教授	14	4	東宮隆教授記念号	55	カール・シュピッツヴェーク 一ミュンヘンのフモールの画家
犬塚 孝明	非常勤講師	14	4	東宮隆教授記念号	55	19世紀初期日本人の英国像 一日英交渉史の視角において一
渡部 学	教授	14	4	東宮隆教授記念号	55	壺山朴文鑑の『日史』考 一日清戦争時下韓国在郷処士の日常行動と思想一
平石 貴樹	助教授	14	4	東宮隆教授記念号	55	石原吉郎(下)
佐野 晃	教授	14	4	東宮隆教授記念号	55	バラリスとポーバリズム 一『わしらの共通の友』論一
小原 広忠	教授(学部長)	14	3	平井正徳教授記念号	54	序文
日南田 一男	教授	14	3	平井正徳教授記念号	54	ヘンリー・アダムズとR.L.スティヴンソンと中島敦と 一サモアでのある出会いをめぐって(その一)
奥田 喜八郎	非常勤講師	14	3	平井正徳教授記念号	54	W・ワーズワス作「蝶」の評釈
平石 貴樹	助教授	14	3	平井正徳教授記念号	54	石原吉郎(上)
小林 絢子	非常勤講師	14	3	平井正徳教授記念号	54	The Subjunctive in the Subordinate Noun Clause in Chaucer's Troilus and Criseyde
鈴木 保昭	非常勤講師	14	3	平井正徳教授記念号	54	ホイットマンと恋人たち ～‘Out of the Cradle’創作の動機
宮崎 雄行	教授	14	3	平井正徳教授記念号	54	The White Devil 小解 一I am too true a woman.(V.vi)
小原 広忠	教授(学部長)	14	2	氷上英廣教授記念号	53	序文
神田 秀夫	特任教授	14	2	氷上英廣教授記念号	53	「悟浄出世」「悟浄歎異」覚書
杉田 弘子	教授	14	2	氷上英廣教授記念号	53	ニーチェとシュティフター
鈴木 満	教授	14	2	氷上英廣教授記念号	53	養虫とWechselbalg (取替え子)
兵頭 高夫	助教授	14	2	氷上英廣教授記念号	53	ニーチェと植物 一『ツァラトゥストラ』小論
浅野 洋	非常勤講師	14	2	氷上英廣教授記念号	53	ヤオスの受容美学をめぐって

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題 目
酒井(横山)滋	教授	14	2	氷上英廣教授記念号	53	中世ドイツに於けるマリア崇拝の歴史(III)
中村 憲治	東京理科大学講師	14	2	氷上英廣教授記念号	53	ニーチェにおける《Die fröhliche Wissenschaft》の意味するもの
光野 正幸	専任講師	14	2	氷上英廣教授記念号	53	E.T.A.HOFFMANN UND BERLIN
横山 定雄	教授	14	1	普通	52	ブラジル日系人の集団化構造ーパストス移住地と瑞穂村を中心にー
渡邊 欣雄	助教授	14	1	普通	52	玉皇上帝誕辰の祭俗に関する比較研究
渡辺 泰宏	本学修士(日)	14	1	普通	52	伊勢物語小式部内侍本考ーその形態と成立に関する試論ー
吉野 博子	本学修士(独)	14	1	普通	52	ドイツ語のPräteritumとPerfektの相違についてードイツの代表的研究書にみられる記述を中心にー
小原 広忠	教授(学部長)	13	4	堀田要治教授記念号	51	序文
松井 栄一	尚学図書言語	13	4	堀田要治教授記念号	51	「心持」と「気持」
西尾 寅弥	群馬大学教授	13	4	堀田要治教授記念号	51	「語彙」の特性
工藤 真由美	非常勤講師	13	4	堀田要治教授記念号	51	シテイル形式の意味記述
鈴木 泰	助教授	13	4	堀田要治教授記念号	51	タリ活用形容動詞の通時的変化傾向とその要因
大野 淳一	助教授	13	4	堀田要治教授記念号	51	「渡りもの」の教師たちー「坊っちゃん」ノートー
瀬田 勝哉	助教授	13	4	堀田要治教授記念号	51	「蘭取」についての覚書ー室町政治社会思想史の一試みー
福田 アジオ	助教授	13	4	堀田要治教授記念号	51	方言圏論と民俗学
小笠原 恭子	教授	13	4	堀田要治教授記念号	51	猿蓑座の創建とその周辺ー江戸芝居町の形成(二)ー
村木 新次郎	国立国語研究所	13	4	堀田要治教授記念号	51	外来語と機能動詞ー「クレームをつける」「プレッシャーをかける」などの表現をめぐってー
小原 広忠	教授(学部長)	13	3	久山満夫教授記念号	50	序文
横山 定雄	教授	13	3	久山満夫教授記念号	50	社会学と実験研究ー実験の意義と方法をめぐってー
星野 郁美	教授	13	3	久山満夫教授記念号	50	アメリカの郊外住宅地の特徴ー排他的地域制についてー
大村 好久	教授	13	3	久山満夫教授記念号	50	社会調査の実行過程と社会調査実習教育
武内 清	教授	13	3	久山満夫教授記念号	50	親の学歴の子どもへの影響について
高橋 均 小野 浩	教授 非常勤講師	13	3	久山満夫教授記念号	50	中学生の職業・労働観と進路志向の形成に関する追跡研究(III):「中学生へのアドバイス」
渡邊 欣雄	助教授	13	3	久山満夫教授記念号	50	Descent 理論の系譜ー概念再考ー
岡山 光憲	教授	13	3	久山満夫教授記念号	50	北ヨーロッパにおける沼沢ミラーユートランド半島を中心としてー
小原 広忠	教授(学部長)	13	2	宮地健次郎教授記念号	49	序文
佐野 晃	教授	13	2	宮地健次郎教授記念号	49	トマス・ハーディに関する覚書ー歴史と永遠と幻視ー
清水 誠	教授	13	2	宮地健次郎教授記念号	49	メルロ=ポンティの後期の思想
山崎 耕一	非常勤講師	13	2	宮地健次郎教授記念号	49	啓蒙思想の地方伝播ー十八世紀後半のツールーズのアカデミーー
佐倉(古閑)純子	非常勤講師	13	2	宮地健次郎教授記念号	49	The Man Who Died 私解(下)ー〈togetherness〉の世界ー
波多野 直人	助教授	13	2	宮地健次郎教授記念号	49	プロレス原論ーその時、祖父と私は立ちあがった
小原 広忠	教授	13	2	宮地健次郎教授記念号	49	An Essay on Anderson's Imagery of Grotesque
酒井(横山)滋	教授	13	1	普通	48	中世ドイツに於るマリア崇拝の歴史(II)
伊藤 紀久代	非常勤講師	13	1	普通	48	初期ロマン派の《ヴィルヘルム・マイスター》論について
内藤 雅文	本学修士(仏)	13	1	普通	48	『失われた時を求めて』における「祖母」像
高橋 時男	専任講師	13	1	普通	48	Some notes on General Conditions On Unbounded Rules
小原 広忠	教授(学部長)	12	4	井上究一郎教授記念号	47	序文
大竹 健介	教授	12	4	井上究一郎教授記念号	47	ボードレールの海
私市 保彦	教授	12	4	井上究一郎教授記念号	47	バルザックの「教会」ー宗教の死と再生の夢
清水 誠	教授	12	4	井上究一郎教授記念号	47	メルロ=ポンティの絵画論
船津 瑠美子	本学修士(仏)	12	4	井上究一郎教授記念号	47	ル・ケーラの城館での過去と現在の対面ーモーリス・ド・ゲランの詩の揺籃の地を訪れてー
竹内 公誠	助教授	12	4	井上究一郎教授記念号	47	形容詞の共感覚的用法と「意味法則」ーS.Ullmann およびJ.M.Williamsの所説をめぐってー
原 幸雄	教授	12	4	井上究一郎教授記念号	47	サント=ブーヴとその母
小原 広忠	教授(学部長)	12	3	上野景福教授記念号	46	序文
奥田 喜八郎	非常勤講師	12	3	上野景福教授記念号	46	西洋に於ける「蛙」の文化史的意義
仙北谷 晃一	教授	12	3	上野景福教授記念号	46	漱石と椿と木瓜とーその趣味の根底にあるものー
酒井(横山)滋	教授	12	3	上野景福教授記念号	46	中世ドイツに於けるマリア崇拝の歴史(I)
佐倉(古閑)純子	非常勤講師	12	3	上野景福教授記念号	46	The Man Who Died 私解(上)ー〈aloneness〉の世界ー
波多野 直人	助教授	12	3	上野景福教授記念号	46	ホイットマン狂想(上)
鈴木 保昭	専修大学教授	12	3	上野景福教授記念号	46	Walt Whitman: Out of the Cradle Endlessly Rockingの表現
富岡 近雄	教授(学部長)	12	2	神田秀夫教授記念号	45	序
神田 秀夫 加倉井 昭夫 瀬田 勝哉	教授 非常勤講師 助教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	瑣談
堀田 要治	教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	橋本進吉と時枝誠記とのほざまにて
今井 淳	教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	和辻哲郎論覚え書ー『日本倫理思想史』における仏教のとりあげ方についてー
清水 誠	教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	「高邁の心」の構造
大野 淳一	助教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	寒月の「ワ イオリン」ー『吾輩は猫である』ノートー
鳥居 邦朗	教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	『晩年』論(一)ー方法の模索ー
瀬田 勝哉	助教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	伊勢の神をめぐる病と信仰ー室町初中期の京都を舞台にー
小笠原 恭子	教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	江戸芝居町の形成(一)ー草創期の興行地ー
福田 アジオ	助教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	村落領域論
渡部 学	教授	12	2	神田秀夫教授記念号	45	退溪李滉の教育思想ーとくにその言行録を読んでー
酒井(横山)滋	教授	12	1	普通	44	「ギリシャでの瞬間」について(III)
竹内 則之	本学修士(日)	12	1	普通	44	石川三四郎の「土民生活」思想ーその生成と構造をめぐって
浅野 洋	本学修士(独)	12	1	普通	44	アルトゥーア・シュニッツラーの Der Weg ins Freieーある解釈の試みー
牧野 裕子	本学修士(英)	12	1	普通	44	Poe の作品における怪物性の問題
小野 浩 高橋 均	非常勤講師 教授	12	1	普通	44	中学生の職業・労働観と進路志向の形成に関する追跡研究(II)中学生の10年後
富岡 近雄	教授(学部長)	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	序
岡 茂男	教授(学長)	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	創刊十周年を祝す
平井 正徳	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	Here and Now
仙北谷 晃一	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	梁塵秘抄逍遥ーアーサー・ウェーリーの英訳を辿りつつー

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題 目
酒井(横山)滋	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	クヌルプ小論
兵頭 高夫	助教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	ショーペンハウアーの復活
大竹 健介	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	虚無と対峙する星の王子
清水 誠	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	メルロ＝ポンティの生命論
横山 定雄	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	日本人契約移民の適応特性 ―ハワイとブラジルの比較研究から―
渡部 学	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	十六世紀朝鮮朝書院の三類型 ―書院の動態的研究への一試論―
福田 アジオ	助教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	民俗と民俗調査 ―民俗学方法論覚え書―
神田 秀夫	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	源氏物語管見(中) ―再論紫式部―
神尾 正俊	助教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	中学生の水泳授業
赤井 岩男	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	サッカーのゲーム分析(3) ―シュートについて―
伊能 敬	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	金属単体結晶における原子の最密充填モデル ―手作りの映像―
岡山 光憲	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	始祖鳥をめぐる問題 ―温血恐竜存在の可能性について―
星野 郁美	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	八十年代のアメリカの大学
宮崎 雄行	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	Doctor Faustus小解
竹内 公誠	助教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	A-N(形容詞+名詞)とN-A(名詞+形容詞) ―フランス語、とくに古フランス語の場合―
井上 九一郎	教授	11	2・3・4	10周年記念論文集	41・42・43	Being Beateous de Jean-Arthur Rimbaud
波多野 直人	専任講師	11	1	普通	40	日本風景論の系譜
小森 信之	本学修士(日)	11	1	普通	40	石田梅岩における天命観の一考察
伊藤 良子	本学修士(日)	11	1	普通	40	宮本百合子論への序章 ―プロレタリア作家への道―
千葉 正昭	本学修士(日)	11	1	普通	40	『お伽草子』考 ―理想郷そして中、後期人物像の接点―
牧野 裕子	本学修士(英)	11	1	普通	40	Poe の作品における「円環」イメージの魔的様相 ―“William Wilson”を中心として
船津 瑠美子	本学修士(仏)	11	1	普通	40	モーリス・ド・ゲランの世界あるいは生
富岡 近雄	教授(学部長)	10	4	五島貞次教授記念号	39	序文
五島 貞次	教授	10	4	五島貞次教授記念号	39	医療の保健外負担に関する考察
久山 満夫	教授	10	4	五島貞次教授記念号	39	遊戯考(承前)
小川 正恭	助教授	10	4	五島貞次教授記念号	39	友人関係(研究ノート)
武内 清	専任講師	10	4	五島貞次教授記念号	39	現代高校生の下位文化 ―4校の調査から―
小野 浩 高橋 均	非常勤講師 教授	10	4	五島貞次教授記念号	39	中学生の職業・労働観と進路志向の形成に関する追跡研究(I)
神田 秀夫	教授	10	2・3	普通	37・38	武蔵の古代像おぼえがき
小笠原 恭子	教授	10	2・3	普通	37・38	『宗安小歌集』私解(三)
兵頭 高夫	助教授	10	2・3	普通	37・38	日本学の先駆者たち
大塚 孝明	専任講師	10	2・3	普通	37・38	明治四年海外視察団の性格 ―明治初期日欧交渉史の一視点―
牧野 裕子	本学修士(英)	10	2・3	普通	37・38	“The Black Cat ” ―その倒錯的ナルシズムの世界―
福田 アジオ	助教授	10	2・3	普通	37・38	沖縄本島村落における近隣組織
伊能 敬	教授(学部長)	10	1	杉本栄教授記念号	36	序文
渡部 学	教授	10	1	杉本栄教授記念号	36	壺山朴文鎬論 ―19世紀朝鮮一在郷処士の人間形成相―
兵頭 高夫	助教授	10	1	杉本栄教授記念号	36	「渾沌」の論理
福本 久雄	教授	10	1	杉本栄教授記念号	36	トレーニングの原則
伊能 敬	教授	10	1	杉本栄教授記念号	36	Overhead Projectorの利用について
赤井 岩男	教授	10	1	杉本栄教授記念号	36	サッカーのゲーム分析(2)(シュートについて)
渡辺 勉	教授	10	1	杉本栄教授記念号	36	自発性の訓練と心理劇法(II)
五島 貞次	教授	9	4	普通	35	医療保険制度の改革について ―基本的諸問題に関する考察―
岡山 光憲	教授	9	4	普通	35	本邦薬用みいら考(二)
鈴木 満	助教授	9	4	普通	35	『千びき皮』管見 ―グリム昔話の鑑賞―
伊能 敬	教授(学部長)	9	3	田崎篤次郎教授記念号	34	序文
東宮 隆	教授	9	3	田崎篤次郎教授記念号	34	学者病 ―『人間本性論』について―
蛭川 久康	教授	9	3	田崎篤次郎教授記念号	34	アイルランドの陰影 ―西部とエドナ・オブライエン―
渡部 学	教授	9	3	田崎篤次郎教授記念号	34	李朝後期「事大交隣」思想の変貌過程小考
大塚 孝明	専任講師	9	3	田崎篤次郎教授記念号	34	英国留学時代の森有礼 ―その国家意識をめぐって―
渡辺 勉	教授	9	3	田崎篤次郎教授記念号	34	自発性の訓練と心理劇法
渡部 学	教授	9	1・2	普通	32・33	朝鮮における書堂(Seo-dang)の変転相
岡山 光憲	教授	9	1・2	普通	32・33	本邦薬用みいら考(一)
小笠原 恭子	教授	9	1・2	普通	32・33	『宗安小歌集』私解(二)
茂木 誠	本学修士(日)	9	1・2	普通	32・33	〈宣長学の構造〉 ―文化学への方法的反省のために
玉村 周	本学修士(日)	9	1・2	普通	32・33	“新感覚派”前景 ―対象把握の問題を中心にして
杉本 栄	教授	9	1・2	普通	32・33	身体運動の映像化と8ミリ映画を利用した連続写真についての報告
赤井 岩男	教授	9	1・2	普通	32・33	サッカーのゲーム分析(シュートについて)
平井 卓郎	教授	8	4	普通	31	古今六帖の一書入本
大竹 健介	教授	8	4	普通	31	正風風雅の構造
小笠原 恭子	教授	8	4	普通	31	『宗安小歌集』私解(一)
神田 秀夫	教授	8	4	普通	31	源氏物語管見(上) ―再論紫式部
横山 定雄	教授	8	4	普通	31	LTファミリーグループにおける“here-and-now”インパクトの解明 ―個人と組織の成長と変革に関する行動科学的研究(1)―
渡部 学	教授	8	3	普通	30	韓国の中学校『国史』教育 (編訳)
兵頭 高夫	助教授	8	2	普通	29	鈴木大拙と神秘主義
酒井(横山)滋	教授	8	2	普通	29	「ギリシャでの瞬間」について(II)
平林 和幸	本学修士(仏)	8	2	普通	29	「地帯」 ―『アルコール』の序詩として―
原 幸雄	助教授	8	2	普通	29	サント＝ブーヴの『ラ・ロシュフォー論』考
渡部 学	教授	8	1	普通	28	陶山における退溪李滉の教育的実動
杉浦 寿	本学修士(日)	8	1	普通	28	高橋和巳小論
林 淑美	本学修士(日)	8	1	普通	28	「芸術大衆化論争」論―日本のマルクス主義受容と文学―(その1)
本多 秀代	本学修士(日)	8	1	普通	28	金子光晴作品初出年譜稿
赤井 岩男	教授	8	1	普通	28	体力診断テストを通してみた武蔵大学学生の体力について
伊能 敬	教授	8	1	普通	28	The Open University

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題目
日南田 一男	教授(学部長)	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	弔辞
野村 由紀江	本学院生	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	弔辞
大坪 秀二	武蔵高・中学校長	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	島田先生を悼む
松井 栄一	その他	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	島田さんを想う
福田 秀一	その他	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	島田先生のこと
平井 卓郎	教授	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	西行・定家と忍恋
堀田 要治	教授	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	なり・だ・である(指定判断の辞) -「不死鳥「あり」のたどる道-
鳥居 邦朗	教授	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	下人は盗人になれなかった -「羅生門」小論-
小笠原 恭子	教授	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	伊勢物語随想 -実名と洒落と紀有常と-
神田 秀夫	教授	7	3・4	島田俊彦教授追悼号	26・27	在原業平 -国文と国史とのほざま-
瀬田 勝哉	専任講師	7	2	普通	25	菅浦絵図考
佐倉(古閑)純子	本学修士(英)	7	2	普通	25	生命からの出発 -D.H.ロレンスと絵画-
中川 誠一	本学修士(仏)	7	2	普通	25	シャトーブリアン『墓の彼方からの回想』におけるシルフィードについて
竹内 公誠	助教授	7	2	普通	25	古フランス語 passé indéfiniの範疇意味 -Aucassin et Nicoletteの場合を中心として-
日南田 一男	教授(学部長)	7	1	上野正源教授追悼号	24	弔辞
鈴木 武雄	教授(学長)	7	1	上野正源教授追悼号	24	上野君と私 -故上野正源教授の追憶-
依田 修	茨城大学教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	上野正源さんのこと -人知ラズシテ檻ラズ亦君子ナラズヤ-
大坪 秀二	武蔵高・中学校長	7	1	上野正源教授追悼号	24	上野正源先生のこと
岡山 光憲	教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	上野さんを偲んで
渡部 学	教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	忘れえぬことなど
田崎 篤次郎	教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	上野さんの思い出
久山 満夫	教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	上野正源さんを偲ぶ
杉本 栄	教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	上野先生を偲ぶ
仙北谷 晃一	教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	上野正源先生を偲ぶ
渡部 学	教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	『海東続小学』とその著者朴在馨 -旧韓末在郷処士層の思想と行動-
星野 郁美	助教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	外国語教育について
岡山 光憲	教授	7	1	上野正源教授追悼号	24	水圏のECOSYSTEMにおよぼす温排水の影響(1) -温排水の実態と熱汚染以外の問題点-
日南田 一男	教授(学部長)	6	3・4	渡部学教授還暦記念号	22・23	序文
李 丙洙	いわき短大教授	6	3・4	渡部学教授還暦記念号	22・23	「朝鮮民事令の前史」-その第11条の、いわゆる「慣習」の根拠を中心に-
久山 満夫	教授	6	3・4	渡部学教授還暦記念号	22・23	遊戯考(承前)
神田 秀夫	教授	6	3・4	渡部学教授還暦記念号	22・23	東から見た「河」と「江」と
私市 保彦	教授	6	3・4	渡部学教授還暦記念号	22・23	ヨーロッパで感じたこと
岡山 光憲	教授	6	3・4	渡部学教授還暦記念号	22・23	Selenium in Ecosystems
兵頭 高夫	専任講師	6	1・2	普通	20・21	ゲーテの詩と東洋の詩 -詩「再会」をめぐっての一考察-
渡部 学	教授	6	1・2	普通	20・21	「牖蒙彙編」について -旧韓末初学入門教科書の性格-
富岡 近雄	教授	6	1・2	普通	20・21	アルガーバル -解釈の試み-
蛭川 久康	教授	6	1・2	普通	20・21	家庭団欒画とジェイン・オースティン
私市 保彦	教授	6	1・2	普通	20・21	恐怖小説としての「青ひげ」 -つつしんで故高津春繁先生にささげる-
上野 景福	教授(学部長)	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	弔辞
正田 建次郎	教授(学長)	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津さんを憶う
辻 直四郎	東大名誉教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津春繁博士の学勲を偲ぶ
村川 聖太郎	東大名誉教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	よき友に先立たれて
高津 久美子	高津夫人	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	想ひ出 -ミノア文化の夢-
酒井(横山)滋	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	「ギリシャでの瞬間」について(I)
清水 誠	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	ポール・リケールの言語論
神田 秀夫	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	「とこ」「あま」「ころ」に就いて
仙北谷 晃一	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	露の詩 -私の日本古典文学ノト-
福田 秀一	非常勤講師	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	太平記の一特質 -特に仏教思想の現れ方について-
久山 満夫	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	遊戯考 -J・ホイジンガ、R・カイヨワの所説によせて-
渡部 学	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	亦楽書齋再論 -朝鮮書院・書堂論への一視角-
竹内 公誠	専任講師	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	語意味の変容と転換
小原 広忠	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	Andersonと‘Understanding’ -〈森の中の死〉三態の比較的考察-
宮崎 雄行	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	『アントニーとクレオパトラ』覚書 -“O heavenly mingle!”(I.v.)-
日南田 一男	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	Henry Adamsと中世:“Mont-Saint-Michel and Chartres”私解
鈴木 武雄	経済学部教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津さんを偲ぶ
藤塚 知義	経済学部教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津先生を想う
岡 茂男	経済学部教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	激動期の先生を偲ぶ
波多野 真	経済学部教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	学部長としての高津先生
佐藤 進	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津春繁先生の思い出
平井 卓郎	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津春繁先生追想
田崎 篤次郎	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津さんの思い出
神田 秀夫	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津先生を偲ぶ
久山 満夫	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津先生を偲ぶ
大竹 健介	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	高津先生を憶う
仙北谷 晃一	教授	5	3・4	高津春繁教授追悼号	18・19	追憶片々
五島 貞次	教授	5	1・2	普通	16・17	社会保障は何を保障すべきか -その部門と相互の関連について-
君島 久子	助教授	5	1・2	普通	16・17	嫦娥奔月考 -月と女神とかぐや姫の昇天-
渡部 学	教授	5	1・2	普通	16・17	李朝時代朝鮮の書院と書堂 -陶山書院と亦楽書齋を中心として-
神田 秀夫	教授	5	1・2	普通	16・17	「日本文化学科」管見
平井 卓郎	教授	5	1・2	普通	16・17	福田秀一著『中世和歌史の研究』
上野 正源	教授	5	1・2	普通	16・17	有限群の順列群表示について(三)
上野 景福	教授(学部長)	4	3・4	大野俊一教授古稀記念号	15	序文
堀田 要治	教授	4	3・4	大野俊一教授古稀記念号	15	消えゆくことば・広がりゆくことば

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題目
氷上 英広	教授	4	3・4	大野俊一教授古稀記念号	15	ツアラトウストラとゾロアスター
塚越 敏	非常勤講師	4	3・4	大野俊一教授古稀記念号	15	リルケとルー・ザロメ
酒井(横山)滋	教授	4	3・4	大野俊一教授古稀記念号	15	「チャンドス卿の手紙」と「帰国者の手紙」に関する二、三の覚え書
宮下 啓三	非常勤講師	4	3・4	大野俊一教授古稀記念号	15	ゲルステンベルクの演劇美学
清水 豊明	助教授	4	3・4	大野俊一教授古稀記念号	15	若きゲーテの抒情詩における「時間」把握の変化
小野 浩	専任講師	4	3・4	大野俊一教授古稀記念号	15	マンハイムの社会理論 - 計画化・制度の社会理論-(下)
武藤 義人	助教授	4	3・4	大野俊一教授古稀記念号	15	J・R・R・トルキーン:「指輪の王」 - 成立経緯の一端と創作原理をめぐって -
渡部 学	教授	4	2	普通	14	総督統治下朝鮮における民間流布在来系教科書本の諸相
小野 浩	非常勤講師	4	2	普通	14	マンハイムの社会理論 - 計画化・制度の社会理論-(上)
福田 秀一	非常勤講師	4	1	普通	13	竹向が記試論
久山 満夫	教授	4	1	普通	13	都市化の生態学的考察(II)
上野 正源	教授	4	1	普通	13	有限群の順列群表示について(2)
蛭川 久康	助教授	3	4	普通	12	マードック試論 - その絵画性と小説空間 -
清水 誠	助教授	3	4	普通	12	メルロー・ポンティの空間論
宮崎 雄行	教授	3	4	普通	12	エドウィン・ミュア覚書 - 想像力と時間 -
酒井(横山)滋	教授	3	3	普通	11	ホーフマンスタールの「バツソソピエール元帥の体験」 - ならずもがな解説 -
矢部 一郎	非常勤講師	3	3	普通	11	現代語訳 宇田川榕菴の植学啓原(2) 〈資料〉
島田 俊彦	教授	3	2	普通	10	日華事変における和平工作 - とくに「桐工作」及び「松岡・銭永銘工作」について-(下)
福田 秀一	助教授	3	2	普通	10	続現葉・臨永・松花三集作者索引 〈資料〉
島田 俊彦	教授	3	1	普通	9	日華事変における和平工作 - とくに「桐工作」及び「松岡・銭永銘工作」について(上)
矢部 一郎	非常勤講師	3	1	普通	9	現代語訳 宇田川榕菴の植物啓原(1) 〈資料〉
酒井(横山)滋	助教授	2	4	普通	8	ホーフマンスタールの「ファルンの鉱山」
福田 秀一	助教授	2	4	普通	8	建春門院中納言日記覚書
久山 満夫	教授	2	4	普通	8	都市化の生態学的考察(一) - 社会問題としての都市化 -
福田 秀一	助教授	2	3	普通	7	延慶両卿訴陳状の伝本と伝来
佐野 晃	助教授	2	3	普通	7	愛と犠牲 - W・ゴールドディングの「尖塔」について -
福本 久雄	助教授	2	3	普通	7	スポーツによる宣伝効果 - 新聞紙上からみたスポーツによる宣伝効果の実態調査とその考察 -
神田 秀夫	教授	2	3	普通	7	荘子演習の回想と反省 〈研究ノート〉
高橋 均	専任講師	2	2	普通	6	家族社会学研究の系譜
日南田 一男	助教授	2	2	普通	6	愛なき世界に生きる孤独なる人々 - 『日はまた昇る』考 -
清水 誠	助教授	2	2	普通	6	純粋持続と記憶 - E・ミンコフスキーの「生きられる時間」を手懸りとして -
星野 郁美	専任講師	2	2	普通	6	タイ国の印象 〈報告〉
福田 秀一	助教授	2	1	普通	5	延慶両卿訴陳の資料と経過補説
渡辺 勉	教授	2	1	普通	5	相互作用の分析カテゴリーに関する研究
上野 正源	教授	2	1	普通	5	有限群の順列群表示について
福田 秀一	助教授	1	2・3・4	普通	2・3・4	近代秀歌諸本の成立と伝来
蛭川 久康	助教授	1	2・3・4	普通	2・3・4	アイリス・マードックの『野咲きの薔薇』における愛の問題
日南田 一男	助教授	1	2・3・4	普通	2・3・4	ヘミングウェイ像を求めて
朴 聖雨	群山師範大専任	1	2・3・4	普通	2・3・4	渡部学著『近世朝鮮教育史研究』 〈書評〉
平井 卓郎	教授	1	1	普通	1	古今六帖についての一考察 - 蜻蛉日記の歌との関連において -
福田 秀一	助教授	1	1	普通	1	近代秀歌の諸本について
久山 満夫	教授	1	1	普通	1	観光開発研究ノート
大竹 健介	助教授	1	1	普通	1	サンテクジュベリにおける虚無との闘い(一)
酒井(横山)滋	助教授	1	1	普通	1	ホーフマンスタールの「騎兵隊物語」
岡山 光憲	教授	1	1	普通	1	Note on Mucopolysaccharide in Dental Tissues
藤塚 知義	教授(経学部長)		キ6	上野正源教授還暦記念号		序文
大坪 秀二	武蔵高等学校教頭		キ6	上野正源教授還暦記念号		上野先生の還暦をお祝いして
伊能 敬	教授		キ6	上野正源教授還暦記念号		イオン性界面活性剤溶液のクラフト点に及ぼす添加塩および有機溶媒の効果
原沢 芳太郎	助教授		キ6	上野正源教授還暦記念号		システム均衡の理論的基礎について
酒井(横山)滋	助教授		キ6	上野正源教授還暦記念号		ホーフマンスタール研究(II)
渡部 学	教授		キ6	上野正源教授還暦記念号		沢堂・李植の「文」論
酒井(横山)滋	助教授		キ6	上野正源教授還暦記念号		ギリシャでの瞬間 〈翻訳〉
藤塚 知義	教授(経学部長)		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		序文
田中 新一	愛知学芸大助教授		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		平井先生の華甲を煩す
岡山 光憲	教授		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		Study on the Endurance of the Formation Ability of the Dental Tissue in the Root of Incisor in Rodentia.
酒井(横山)滋	助教授		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		ホーフマンスタール研究(1)
渡部 学	教授		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		沢堂・李植の『示兒代筆』 - 李朝両班儒学者の家訓書 -
宮崎 雄行	助教授		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		「イザベラ」と「聖アグネス祭前夜」私解
伊能 敬	教授		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		ドデシル硫酸カリウム水溶液のクラフト点近傍における電気伝導度の温度変化について
武藤 義人	助教授		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		The Shadow-Line 試論 - イニシエーションの構造 -
芹沢 彪衛	教授		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		「経済人」について
酒井(横山)滋	助教授		キ5	平井卓郎教授還暦記念号		詩人と現代 H.v.Hofmannsthal 〈翻訳〉
山口 正吾	教授(経学部長)		キ4	森五郎教授還暦記念号		序文
鹿子木 コルネリア	非常勤講師		キ4	森五郎教授還暦記念号		Für meinen Kollegen und Freund Herrn Prof. Goro Mori
鹿子木 コルネリア	非常勤講師		キ4	森五郎教授還暦記念号		森五郎教授に (横山滋訳)
田崎 篤次郎	教授		キ4	森五郎教授還暦記念号		「象徴の意義」 - ワーズワスの初期の田園詩について -
宮崎 雄行	助教授		キ4	森五郎教授還暦記念号		「レイミア」私解
富岡 近雄	助教授		キ4	森五郎教授還暦記念号		「自由精神」についての試論 - 観測者ニーチェ -
大竹 健介	助教授		キ4	森五郎教授還暦記念号		近代代理性とパスカル
渡部 学	教授		キ4	森五郎教授還暦記念号		韓国における「近代」史研究への模索
岡山 光憲	教授		キ4	森五郎教授還暦記念号		The calcification mechanism of rootless incisor
平井 卓郎	教授		キ4	森五郎教授還暦記念号		徒然草覚え書

氏名	個人備考	巻数	号数	記念号・普通号	通巻	題 目
赤井 岩男	非常勤講師		キ3	普通		スポーツの種目別に見た選手の体形に関する一考察
平井 卓郎	教授		キ3	普通		神宮文庫蔵古今六帖
渡部 学	教授		キ3	普通		朝鮮後期の社会的変動(Ⅱ) -韓国における李朝史研究の動向-
渡辺 勉	教授		キ3	普通		役割意識についての研究(報告)
岡山 光憲	教授		キ3	普通		Note on RNA in the mechanism of memory
富岡 近雄	助教授		キ2	普通		神話とロゴス(ニーチェにおけるソクラテスの問題)
渡部 学	教授		キ2	普通		朝鮮における「副次」的初等教育施設(下)
宮崎 雄行	助教授		キ2	普通		「ハイピリオンの没落」と「秋に」私解
平井 卓郎	教授		キ2	普通		「合歓木花」考
平井 卓郎	教授		キ1	普通		古今六帖と伊勢物語
行方 昭夫	専任講師		キ1	普通		二つのThe Gioconda Smile -Huxley管見-
宮崎 雄行	専任講師		キ1	普通		キーツのオウド私解
武藤 義人	専任講師		キ1	普通		Lord Jim: An Interpretation
渡部 学	教授		キ1	普通		北朝鮮の教育学・〈研究ノート〉
岡山 光憲	教授		キ1	普通		“Experimental Transplantation of Vital Organs” by V.P.Demikhov